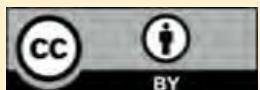


書誌調整連絡会議  
2025.10.16

# 「書誌計画2030」(案) への私見

渡邊 隆弘  
(帝塚山学院大学)



*watanabe@tezuka-gu.ac.jp*

## 渡邊の勝手な意見(最近の当会議)

### 2022年度:ジャンル・形式用語

ジャンル・形式典拠の拡充(客觀性・厳密性を過度に意識せず)

### 2023年度:全国書誌サービス

全国書誌の「速報性」のさらなる向上

典拠コントロール対象の拡充(書誌データ水準)

他機関の地域資料等の典拠コントロール組み入れ(網羅性向上)

### 2024年度:典拠コントロール

著作(・表現形)コントロールの拡充(一部機械的にでも)

下位レベル(構成著作等)への典拠コントロール拡充

典拠LODデータ提供の実有効性

国内の典拠データの相互運用性向上

## 渡邊の勝手な意見(もう少し前の当会議)

### NCR2018策定の立場から 規則の特徴(新しさ)を発揮できる実装を

★これから： 実装に期待

毎年くりかえしになりますが…

さまざまな特徴を生かすのは、実装・運用

これまでよりも、自由度の高い規則  
=これまで通りでも「違反」にならない

作るデータの意味を問いつつ、実装を…

NDLをはじめとして、  
本日お集まりの機関のみなさまに期待

2018年度の  
発表スライド

## 書誌コントロール活動に望むこと

「資料のもつ利用可能性を最大限に顕在化」

(NCR2018 #0.4 目録の機能)

一元的・統合的な情報発見環境

可能な限り網羅的な「集中機能」

典拠コントロールの拡充

可能な限り豊かな「関連」情報

典拠コントロール + $\alpha$

幅広い相互運用性

十分な機械可読性をもったデータ

図書館界の外にも開かれたデータ

これらを、一定程度分散化された作成環境のもとで実現

## 今回の素案を拝見して(1)

### 全国書誌の「拡張」(1.1)

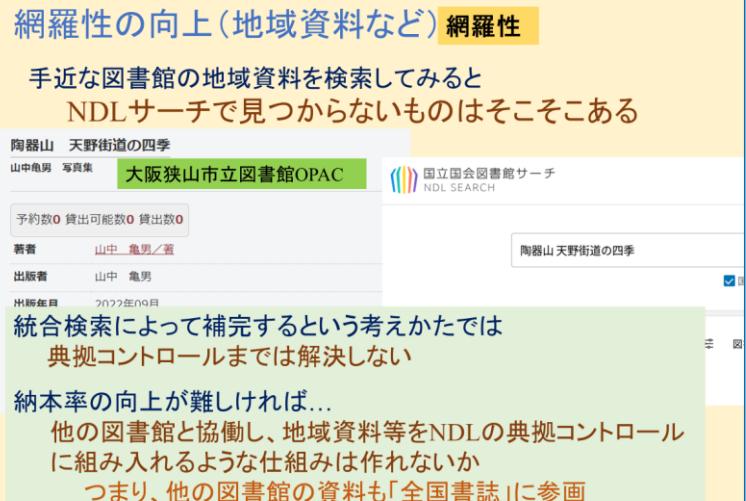
大変、意義深いこと

「典拠コントロールの拡充」にも言及  
「具体的なことは、これから検討」に期待  
特に、地域資料など

網羅性の向上(地域資料など) 網羅性

手近な図書館の地域資料を検索してみると  
NDLサーチで見つからないものはそこそこある

陶器山 天野街道の四季  
山中亀男 写真集 大阪狭山市立図書館OPAC 国立国会図書館サーチ  
予約数0 貸出可能数0 貸出数0  
著者 山中 亀男／著  
出版者 山中 亀男  
出版年月 2022年09月  
統合検索によって補完するという考え方では  
典拠コントロールまでは解決しない  
納本率の向上が難しければ…  
他の図書館と協働し、地域資料等をNDLの典拠コントロール  
に組み入れるような仕組みは作れないか  
つまり、他の図書館の資料も「全国書誌」に参画



2023年度の  
渡邊スライド

## 今回の素案を拝見して(2)

### 紙と電子の一元化(1.2)

これももちろん、意義深いこと  
特に、「典拠コントロールの一元化」

具体的には(正しく読み取れていないかも...)  
紙と電子があれば著作データ作成、ということ?

「複数の体現形があれば」のほうがすっきりするが...  
ボーンデジタル(紙なし)は典拠コントロールされない?  
(「書誌データ詳細度の一元化」でなされる?)

## 今回の素案を拝見して(3)

### 書誌データの拡充・機能強化(2.1)

識別子、典拠データ、「関連」という重点項目(2.1.1～3)は妥当

事前資料だけでは十分理解できないところも？

具体的の規模感がつかみづらかった

現計画で新規導入の「ジャンル・形式用語」への言及なし？

### 記事・論文の書誌データ(2.1.4)

重要と思うが、これも具体が十分理解しがたい

典拠コントロール？(拡充できれば意義深い)

データ作成の効率化が有望なところかも

## 今回の素案を拝見して(4)

### メタデータの連携拡大(2.2)

「典拠データの共同提供」は意義深いこと

NCR作成・維持の立場からは…

現計画の「書誌データ標準化」は少し薄くなった印象  
(NCR2018も出てこなくなった)

標準作成・維持への継続的・積極的関与を期待したい  
(目録規則に限らず?)

## その他、用語について

「書誌データ」に典拠データを含まない

標準的定義に合わせる意図は理解できるが、そうしてしまうと  
タイトル「書誌データ作成・提供計画」のすわりが悪いのでは...

「メタデータ作成・提供計画」？

「書誌コントロール計画」？

「有体資料」と「無体資料」

理解はできるが、あまり見たことがない  
あえてこれを使う必然性は...